



菅生学園報

第7号 2021年度秋季号



理事長メッセージ

目次

1. 理事長メッセージ
2. 菅生のあゆみ
3. 菅生高校硬式野球部
甲子園出場
4. 園長／校長メッセージ
トピック
活動報告
今後の予定
5. 菅生STEAMチャレンジ
6. 菅生のひとこま

編集後記



理事長
島田 幸成

『地元愛を』 ～大金真人氏の講演から～

8月30日、緊急事態宣言発出中の「教職員研修会」でしたが、感染防止対策を万全にしたうえでの開催で、貴重な時間になったと思っています。

中でも、東海大学付属相模高校の前校長で、この地域にご縁のある大金真人先生の「地元愛、地域愛を重視する」お話に感銘を受けました。約1時間のご講演の中で、しばしば地元や地域に関する言葉がありました。

「先生たちには地元愛が必要。その心が子どもたちにうつっていく」「菅生学園が地元からどれだけ愛されているか」

「地域のニーズを捉え、それに応える・・・地域の保護者が何を求めているか。どこまで取り入れるか」

「地域に溶け込むことが大事・・・ボランティア活動」

「地域の拠点としての菅生になること・・・防災、自然保護、文化、歴史散策・・・」 などなど。

「五日市憲法」や「平井川遺跡」など例をあげ、先生方にご存じか問いながら話を進めていました。残念ながら拳手される先生はほとんどいなかったのですが、地域の教育機関である菅生学園でありますから、その発信基地としての役割を果たすべく、まずは先生方が地域の文化や歴史を知っていなければならないと考えます。

コロナ禍における教育活動に創意工夫して取り組んでいる教職員の皆様には、日頃から感謝しておりますが、学園の発展のために更なるご努力をよろしくお願い致します。

菅生のあゆみ



副理事長
島田 洋子

=交換留学生「リビー(エリザベス)」の思い出=

リビーが交換留学生としてオーストラリアのサウスウェルズ州より来日し、菅生学園に通い始めたのは、25年ほど前の、春とはいえまだ寒さが抜けきらない季節でした。

彼女はロータリー・クラブからの推薦であったため、この日から島田家の家族の一員となり、毎日元気に学園に通いました。クラブ活動は柔道部に入り、毎日柔道に真剣に取り組み、活動していました。季節が梅雨時であったため、柔道着が乾かず苦勞していたようでした。

当時、私は毎日多摩学院幼稚園に勤務していたため、時々リビーを連れて行き、勉強のために保育士の手伝いをしたり、園児と一緒に活動したりして楽しんでいました。毎朝、リビーは私に「お母さん、今日は何の日ですか?」と質問しました。私が「幼稚園は今日はバース

デー・パーティーなので、みんなで歌を歌ったり、紙芝居を見せたりするの。」と答えると、「お母さん、今日は素晴らしい日ですね。」と喜んでいました。また、ロータリー・クラブからの交換留学生の行事で都心に出かける日など、「今日はどの洋服を着たほうがいいですか?これ?それともこれ?」とロッカーの中の洋服をよく確認していました。

そんなある日、リビーが留学生のパーティーに招かれ、ホスト・ファミリーのお父さん(島田久理事長)と東海大学へ出かけました。そして、帰るやいなや「お母さん、今日は大学にたくさんの幸成がありましたよ。」と私に話しました。多分、当時皮のジャンパーとジーパンが流行した大学生のファッションだったので、その情景を言いたかったのだと思います。

我が家でのリビーの3か月の生活も終わり、瑞穂町の木下獣医さんの家にリビーを送り届けました。他の3件のご家庭でも、それぞれリビーをその個性のままに育てていただき、一日一日を有意義に過ごしていたようです。

リビーは1年間の日本での生活経験で日本語も流暢に話すことができるようになりました。日本の文化や風習を学び、菅生の多くの友人、先生方とも深い交わりができたことは、リビーの一生の宝になったことと思います。

オーストラリアに帰国後は、日本領事館に勤め、その後めでたく結婚。結婚式には4家族で出席しました。リビーとの出会いは25年ほど前ですが、そのうちにもう一度会いたいと思っています。



法被を来て嬉しそうなリビー

菅生高校硬式野球部 甲子園出場

第103回 全国高等学校野球選手権大会を終えて



8月17日 試合結果

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 計 |
|-----------|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|
| 東海大菅生(東京) | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0× | | 4 |
| 大阪桐蔭(大阪) | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 2 | | | 7 |

監督 若林弘泰

第103回全国高等学校野球大会に関して、保護者の皆様また、在校生、卒業生の皆様、教職員の方々等の多大なるご支援ご声援、ご協力ありがとうございます。4年ぶり4回目の全国選手権大会出場、昨年の独自大会を含めれば2年連続の夏の大会優勝。日本一を目標に挑んだ大会でした。結果は、初戦で大阪桐蔭に敗退し、日本一には届きませんでした。全国トップクラスの学校と互角に戦えたと思います。

この貴重な経験を活かし、更に上を目指して、チームが成長出来る様に日々努力して参ります。今後とも御指導のほど宜しくお願い申し上げます。

主将 栄 壘唯

西東京大会、選手権大会とあたたかい応援ありがとうございました。秋季東京都大会優勝、夏の西東京大会優勝は、野球部だけでなく学校全体の力で勝ちとったものだと思っています。選抜大会以上の結果を求めて、選手権大会に挑みましたが、残念ながら初戦で大阪桐蔭高校に4対7の8回途中降雨によるコールドゲームで敗れました。

今回、自分たちが味わった悔しさは、甲子園でしか晴らせないと思うので、きっと後輩たちが受け継いで晴らせてくれると信じています。更に努力を重ね成長し、日本一を後輩たちが取ると思うので、今後とも応援よろしく申し上げます。



応援席からは熱いエールが送られました



西東京大会準決勝・決勝は東京ドームで行われました



学びの城には応援のぼり

多摩学院幼稚園

園長メッセージ



仲野 三千代園長

= 幼児教育の本質を進化 =

コロナ禍の今だからこそ幼児教育の本質をより進化させることが重要な時代となりました。園内は、子ども達の元気な姿に沢山の勇気もらい教職員もパワーアップしています。

一人ひとりの子どもの姿に丁寧に関わる。子ども達の最善の利益が保証される日々の保育、その『プロセスの質』及び『構造の質』の在り方にしっかりと目を向けていくことが求められています。子ども達、一人ひとりが、自ら考え行動することができるよう、また、認知能力と非認知能力をバランスよく身につけられる環境づくりの大切さ、そして、いろいろな逆境にも自らの力で立ち向かい、乗り越え解決ができるように、子ども達の情報及び問題を意識、共有し目標に向かって邁進していきます。

楽しい幼稚園生活の中で、無限の可能性をもっている子ども達だからこそ生きぬく力も培っていきます。

未来へのバトンが途切れなく更新されていくことを願い希望を持ち、応援して行きます。

子ども達はもちろん、保護者、教職員の皆さんが明るく楽しく元気に過ごせる環境づくりを引き続きして行きたいと思えます。

トピック

7月3日(土)に七夕仲良し会(保護者参観)が行われました。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、学年ごとに分かれて行い、園児1名につき保護者1名の参観とし、感染予防対策を行っての実施となりました。

園生活の中でコツコツと練習を重ね、年中組は歌「バスごっこ」、木琴「きらきら星」、リズム遊戯「打て打て! GENKI太鼓!」を、年長組は歌と手話「虹のむこうに」、ピアノ「ちょうちょう」、リズム劇「長ぐつをはいたネコ」を披露しました。昨年は保護者の参観がなく、DVD撮影での発表でした。今年は、目の前でお父さんやお母さんが演技を見てくれることで、子どもたちのやる気も十分で、当日は一人ひとりが120%の力が発揮することができました。子どもたちもとても嬉しそうでした。

子どもたちが作った笹飾りに願い事にも「コロナが終わりますように」と書かれていて、願い事が叶うよう祈るばかりです。来年こそは、家族みんなが応援してくれる七夕仲良し会になるといいなと思えます。

願いを込めて一生懸命がんばりました

【年長組】

ピアノカ



リズム劇



【年中組】

木琴



リズム遊戯



活動報告

- 4 / 5 1学期始業式
- 4 / 13 交通安全教室
- 4 / 15 進級対面式
- 4 / 23 こいのぼりマラソン
- 4 / 28 春の多摩学フェスティバル
- 5 / 27 開園記念日

- 6 / 7 避難訓練引き渡し
- 6 / 11 内科健診・歯科健診
- 7 / 3 七夕仲良し会(保護者参観)
- 7 / 15 年長お楽しみ会
- 7 / 16 一学期終業式
- 7 / 18 夏祭り

- 7 / 19 夏祭り
- 8 / 25 夏期保育
- 8 / 26 夏期保育
- 8 / 27 夏期保育

活動予定

- 9 / 1 2学期始業式
- 9 / 2 マジックショー
- 9 / 6 防犯訓練
- 10 / 23 第51回運動会
- 10 / 25 マラソン始まり
- 10 / 29 秋の多摩学フェスティバル
- 11 / 4 みかん狩り
- 11 / 22 交通安全教室及び勤労感謝の集い
- 12 / 4 クリスマス会(保護者参観)
- 12 / 10 お餅つき大会
- 12 / 20 2学期終業式

菅生学園初等学校

校長メッセージ



下平 孝富校長

＝ 自分の心に固く決意すれば、目的は既に半分達成されたも同然だ。
エイブラハム・リンカーン ＝

暦の上でも夏が終わり、東京五輪も様々な感動とともに閉幕しました。いよいよパラリンピックが始まっております。その一方、コロナウィルスの蔓延は災害レベルに達しています。やっかいな変異種の拡がりや感染拡大の要因との見方もある中、10代の感染者も増えており、油断のできない状況が続いています。一刻も早い終焉を望みたいところです。

さて、初等学校の児童募集は、年長児たちへのイベントをすべて終了しました。今はまさに「人事を尽くして天命を待つ」心境です。コロナウィルスの影響で、来校者数は昨年比伸び悩み傾向でしたが、茲許 個別来校見学者が日々増えつつあります。いよいよ今年は、立川国際が12年一貫教育に乗り出し、募集を始めています。都立の一貫校ですので注目が集まっていますが、本校は私学のカウンターパートとして競り負けなように頑張ります。上記の言葉を肝に銘じつつ目標達成への固い意志を持ち、最善を尽くしてまいります。

トピック

＝第2回 イングリッシュ・キャンプ＝

7/29(木)～7/31(土)に第2回イングリッシュ・キャンプが開催されました。今年3月には4～6年生対象に初めてイングリッシュ・キャンプが行われました。児童や保護者からたいへん好評でしたので、今回は3・4年生を対象に夏休みを利用して開催いたしました。15名の児童が3日間、朝から夕方まで英語漬けの時間を過ごしました。

- ・1日目 午前：自己紹介や日常英会話の練習 午後：アクティビティで英語に親しむ
- ・2日目 午前：CLIL授業（造形工作を英語で学習） 午後：オリンピックについての調べ学習
- ・3日目 午前：パワーポイント作成とプレゼン練習 午後：保護者を招いての英語プレゼンテーション

異文化理解とコミュニケーションスキルの向上を目的とした今回のプログラムでしたが、最後の電子黒板を用いたプレゼンも大変立派で、保護者の皆様も大満足でした

英語漬けの3日間でした



CLILによる授業あり、オリンピックを題材とした探究活動ありと、英語による多様な活動に、児童は楽しみながら参加していました。

活動報告

| | | | | | |
|-----------|--------------------|-----------|---------------------|-----------|--------------------------------|
| 5 / 1 | オンライン見学会 | 6 / 7～11 | オンライン見学会 | 7 / 8～15 | 水泳指導 |
| 5 / 10～21 | 1年生すがめきーF体験 | 6 / 10 | 授業参観（1・5年） | 7 / 8～14 | 個人面談期間 |
| 5 / 10～21 | オンライン個別相談会 | 6 / 11 | 授業参観（3・4年） | 7 / 10 | 東海大学藤吉教授 自然観察特別授業（4年） |
| 5 / 15 | オンライン見学会 | 6 / 12 | 授業参観（2・6年） | 7 / 12 | 社会科見学 （6年：東京都 文化財埋蔵センター） |
| 5 / 17 | 校内研究会 | 6 / 12 | 蛍の夕べ | 7 / 12～14 | レプトン特別授業 |
| 5 / 21 | 塾対象説明会 （初中高合同） | 6 / 14～26 | 教育実習 | 7 / 16 | 終業式 |
| 5 / 22 | 6年生保護者会 | 6 / 16 | 委員会活動 | 7 / 17 | スクールトライアル |
| 6 / 2 | 委員会活動 | 6 / 19 | オープンスクール | 7 / 29～31 | イングリッシュ キャンプ（3・4年） |
| 6 / 4 | 東京都初等学校協会 一斉研修会 | 6 / 21 | 田植え（5年生） | 8 / 24～27 | サマースクール （リモート授業） |
| 6 / 5 | 水道キャラバン（4年） | 7 / 3 | スッガニアサイエンス 一斉研修会 | | |
| 6 / 7～12 | あいさつ運動 | 7 / 6 | 東京都初等学校協会 一斉研修会 | | |
| | | 7 / 7 | 七夕集会 | | |

活動予定

| | | | | | |
|---------|-----------------|---------|--------------|---------|-----------------|
| 9 / 1 | 始業式 引き渡し訓練 | 10 / 18 | 教育実習 | 12 / 9 | 個人面談週間 |
| 9 / 2 | 学力テスト（6年） | ～11 / 6 | | ～16 | |
| 9 / 6～8 | 三者面談（6年） | 10 / 23 | スッガニア・ハロウィーン | 12 / 17 | 終業式 |
| 9 / 11 | オンライン見学会 | 11 / 1 | 第1回 入学試験 | 12 / 18 | スッガニア ・クリスマス |
| 9 / 15 | TGG英語体験学習（5・6年） | 11 / 5 | 学力テスト（1～5年） | | |
| 10 / 2 | 菅生祭 | | 漢字検定（6年） | 12 / 21 | |
| 10 / 13 | 開校記念日 | 11 / 13 | 第2回 入学試験 | ～23 | スノースクール |

菅生高等学校中等部

校長メッセージ

下平 孝富校長

＝ 子(し)、川(かわ)の上(ほとり)に在(あ)りて日(いわ)く、逝(ゆ)くものは斯(か)くの如(ごと)きか。昼夜(ちゅうや)を舍(お)かず。～だからこそ 最善(さいぜん)を尽くしたい～ ＝

本稿を書いている8月末、暦の上では秋となりました。巷では、パラリンピックが始まりましたが、大会の華やかさと異なり、緊急事態宣言も空しく、相変わらずコロナウィルスの蔓延が心配な状況になりつつあります。変異株のデルタ株に置き換わることで、この爆発的な感染拡大を招いているとの見解もあるようです。一刻も早い終息を願いたいところです。

この夏は、『論語』の言葉に触れる機会がありました。上記はその『論語』の中の一節です。川の流れを眺める孔子が「ながれゆく時」を思いながら感慨を込めてつぶやく姿が浮かびます。『平家物語』の冒頭にある「諸行無常」の言葉や『方丈記』の冒頭「ゆく川の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。・・・」を連想する方も多いのではないのでしょうか。

最近頃を感じるの、時の流れや世の中の変化の速度の速さです。我々の一生も「時の流れ」という川にただ身を委ねているだけかもしれません。だからこそ、限られた時間の中で最善を尽くすべきなのだろうと感じる今日この頃です。

トピック

中等部の広報イベントにおいて特色ある企画といえば、毎回の学校説明会で行われる「算数教室」があげられます。算数教室は、数学科の川杉先生と佐保田先生を中心に5年前から始められ今日まで続いています。対象学年は5年生・6年生ですが、参加人数の多いときには、初等学校の小島先生にもお手伝い頂き、2教室に分けて行われています。

児童たちは、過去の入試問題などを解いた後、その解き方や効果的な取り組みについての解説を聞きます。先生方の熱心な説明に、児童たちもとても真剣な表情でのぞんでいます。そしてたいへん嬉しいことに算数教室に毎回参加され、入学へとつながる児童が増えています。保護者同士で声をかけあって参加される方も少なくありません。すべては「楽しく学べる授業」を実践されている数学科の川杉先生、佐保田先生、小島先生のご尽力の賜物かと思えます。

中等部の広報イベントとして確実に定着した算数教室の取り組みが、受験生の学力向上、さらに本校入学へとつながれば、これほど嬉しいことはありません。今後も長く続く広報イベントであればと思います。

小学生が楽しく学ぶ「算数教室」



活動報告

- | | | | |
|--------|----------------------|--------|-------------|
| 4 / 7 | 入学式 | 6 / 12 | 第1回理科実験教室 |
| 4 / 17 | 保護者会②③ | 7 / 12 | 指名補充 ～17日 |
| 4 / 21 | 校外学習③(東京グローバルゲートウェイ) | | |
| 5 / 8 | 第1回学校説明会 | 7 / 18 | 第1回オープンスクール |
| 5 / 21 | 第1回塾対象説明会(学びの城) | 8 / 25 | 登校日 ～27日 |
| 6 / 2 | 写生会② | 8 / 28 | 第2回理科実験教室 |
| 6 / 5 | 第2回学校説明会 | | |

活動予定

- | | | | | | |
|---------|--------------|---------|---------------------|---------|--------------|
| 9 / 1 | 避難訓練 | 10 / 15 | 生徒会役員選挙 | 11 / 16 | 校外学習②(横浜・鎌倉) |
| 9 / 10 | 塾対象説明会 | 10 / 22 | 郷土学習 | 11 / 27 | 第1回入試体験教室 |
| 9 / 11 | 第3回学校説明会 | 10 / 23 | 第3回理科実験教室 | 12 / 4 | 第4回理科実験教室 |
| 9 / 16 | 授業公開 | 10 / 25 | 修学旅行 | 12 / 16 | 音楽祭 |
| ～18 | | ～29 | | 12 / 17 | 芸術鑑賞教室 |
| 9 / 29 | スポーツ大会 学期更新式 | 10 / 26 | 校外学習①(東海大学社会教育センター) | 12 / 19 | 第2回入試体験教室 |
| 10 / 2 | 菅生祭 | 11 / 6 | 第4回学校説明会 | | |
| 10 / 10 | 第2回オープンスクール | 11 / 10 | 夢育て講座 | | |
| 10 / 13 | 開校記念式典 | | | | |

菅生高等学校

校長メッセージ



峰岸 英仁校長

= 成長する機会としての学校行事 =

世界のスポーツの祭典である東京オリンピックもほとんどの試合が無観客での実施となったように、新型コロナウイルス感染拡大対策のため、世の中は異常な状態になっています。日本では1年半にわたり、例年のような生活ができていません。

高校時代は大きく成長する時期です。この時期に経験したことが、長い目で見たときに大きな財産になります。人間の活動には個人と組織がありますが、組織が持っている知識・技能・ノウハウは活動を通して継承されるので、その機会がなければ途絶え消滅してしまいます。高校生活はわずか3年であり、しかも学年ごとに役割が違いますので、1度中止になっただけでも痛手となる行事もあります。また、アスリートがオリンピックをめざし身体と精神を鍛え技術を高めるように、人間は目標があるからこそ成長でき、チームは結束できます。このようなことから恒例行事は可能な限り行われるべきだと考えています。

トピック

8月に東京都高等学校吹奏楽コンクールが2年ぶりに開催されました。菅生高校は、A組が金賞受賞し、都大会へ推薦していただきました。また、B組、C組ともに金賞ならびに最優秀賞をいただきました。自由曲ワインダークシーで素晴らしい演奏を披露したA組は、その後都大会でも金賞を受賞し、3大会連続の全国大会への切符を手に入れました。

今年も吹奏楽部は全国大会出場を決めました



7月に開催されたオープン・スクールでも吹奏楽部に熱い視線が送られました。

活動報告

| | | | |
|-------------------|-----------|---------------|----------------|
| 4 / 2 2 | 三者面談 | 6 / 1 2 | GTEC |
| 4 / 2 4 | 保護者会 | 6 / 1 2 | 合同相談会 |
| 5 / 1 0 ~ 1 4 | 校外学習 | 6 / 1 7 | 東海大学訪問・大学個別相談会 |
| 5 / 1 5 | 保護者会 | 7 / 1 ~ 6 | 定期考査 |
| 5 / 2 5 ~ 2 8 | 定期考査 | 7 / 8 | 特進：東京ゲートウェイ |
| 5 / 3 1 ~ 6 / 1 9 | 教育実習 | 7 / 1 3 ~ 1 5 | サマースクール |
| 6 / 4 | スタディ P-S | 7 / 1 6 | 学年会 |
| 6 / 9 | 生徒総会・安全教室 | 8 / 1 8 ~ 2 3 | 夏期講習 |

活動予定

| | | | |
|-----------------|--------------|-----------------|------------|
| 9 / 2 9 | 体育祭 | 1 2 / 4 | GTEC試験（1年） |
| 9 / 3 0 | 学期更新式 | 1 2 / 1 4 ~ 1 7 | 定期試験D |
| 1 0 / 2, 3 | 菅生祭 | 1 2 / 1 7 | 芸術鑑賞教室 |
| 1 0 / 9 | 第一回学校説明会 | | |
| 1 0 / 1 3 | 開校記念式典 | | |
| 1 0 / 1 9 ~ 2 2 | 定期試験 c | | |
| 1 0 / 2 3 | 第二回学校説明会 | | |
| 1 1 / 4 | 高大連携総合試験（3年） | | |
| 1 1 / 6 | 第三回学校説明会 | | |
| 1 1 / 2 2 | 第四回学校説明会 | | |
| 1 1 / 2 7 | 第五回学校説明会 | | |
| 1 1 / 2 9 | | | |
| ~ 1 2 / 3 | 沖縄修学旅行（2年） | | |

菅生 STEAMチャレンジ (2)

STEAM教育 ⇒S(Science 科学)、T(Technology 技術)、E(Engineering 工学)、A(Art 芸術)、M(Mathematics 数学)
このコラムでは、菅生学園の各園・校が取り組む様々な特徴あるSTEAM教育をご紹介します。
コラム第2回は、初等学校の特色ある教育活動の1つ「ゆたかの時間」についてです。

菅生学園初等学校 ゆたかの時間

＜「自然が教科書だ」 菅生の自然から考えるSDG s＞

初等学校の特色ある教育として取り組んでいるのが「ゆたかの時間」です。「ゆたかの時間」では生活、総合の時間を活用して、全校体制で毎週2時間行っており、低・中・高学年それぞれの発達段階を踏まえ、菅生の自然環境を活かした体験学習を進めています。

里山の四季折々のいろいろな生き物や植物に触れる中で、子供たちの探究心を膨らませ、豊かな心と自ら学ぶ力を育むことを目指しています。

低学年：発見

里山の動植物や鯉川の水に触れたり、自ら育てた野菜を収穫したりと体験的な学びを重視。

中学年：考察

体験をもとに感じた興味や疑問について、本やインターネットを使って調べる自発的な学びを行う。

高学年：探究

稲作を通してお米の文化を学んだり、鯉川の水質調査を行い、環境問題について考えたりと探究的な学びへとつなげる。

ある日の「ゆたかの時間」

2年生は6月に竹内牧場に行き秋川牛の写生をさせていただき、竹内さんに牧場での仕事のことや牛のことについてもお話をお聞きました。間近で見る秋川牛は何度見ても迫力満点。この牛を育てるためにどんな餌を与えているのか、どんな土が必要なのかなど、お聞きした話を子どもたちは一生懸命メモを取っていました。

4年生の「ゆたかの時間」では、東海大学教養学部人間環境学科藤吉正明教授にご来校いただき、学校の周りの自然や生き物について散策しながら教えていただきました。学校の裏山ではカタツムリを見つけ早速レクチャー開始。食べるものやカタツムリに必要な湿度の話など、興味深い内容を学ぶことができました。笹の葉を見つけて笹船の作り方や竹筒の吹き方についても教えていただき、子どもたちも一生懸命練習する姿がありました。

「ゆたかの時間」では、稲作を行って収穫したもち米でお餅をついたり、育てた大豆でお味噌を作ったりと、栽培から収穫、加工までの一連の取組みも行っていきます。自然観察だけにとどまらず、食育やSDG sについて、実体験をもとに学ぶ、大切な教育活動にもなっています。



竹内牧場での秋川牛の写生



図工との教科横断型のとりくみも実施
写生をもとに学年で共同制作した秋川牛のオブジェ



東海大学藤吉正明教授による自然観察会



恒例となった稲作



「ゆたかの時間」の活動の様子を伝える「このはつうしん」(初等学校のホームページで見ることができます)



ゆたかルーム(学びの城2F)採集した魚を飼育、標本や図工の時間で制作した作品を展示しています。

菅生のひとこま (1)

菅生学園のさまざまな場所をご紹介します。記念すべき第1回は高校校舎の平和ホールです。

<創業者島田久先生の想いを伝える平和ホール>

高校校舎の職員室前には平和ホールと名付けられたスペースがあります。島田前理事長の生涯について記された「無への挑戦」には、前理事長がこのホールに込めた想いについて、次のように書かれています。

菅生の生徒指導は職員室では行われぬ。このホールで生徒と教師とがマンツーマンで話す。この明るい空間にいる限り、生徒と教師とは対等なのだ。その対等の場で、教師は人生の先輩としての助言を与え、生徒は自由に自分の考えを述べ、悩みを打ち明ける。これが久が考え抜いた末に得た、理想的な生徒と教師の交流の姿だった。生徒は長時間学校にいるわけだから、あくまで生徒に圧迫感をあたえないように、どこまでも自由闊達に学園生活を送れるようにするのが、菅生の教育方針なのである。

平和ホールには昭和59年3月に設置されたステンドグラスがあります。これは原爆の惨状を描いた絵画「原爆の図」で世界的に著名な画家丸木位里・俊夫妻のデザインによるもので、タイトルは「平和の祈り」。

前理事長島田久先生と親交があった福生美術研究所長平松利昭先生は、前理事長の教育思想に共感し、30年ほど前に多摩学院幼稚園で絵画を教えてくださいました。その平松先生が丸木位里さんの愛弟子だったご縁で、副理事長島田洋子先生、多摩学院幼稚園現園長仲野先生らが丸木位里さんをお訪ねし、原爆のお話を聞くなど交流の機会を持ちました。丸木さんは、松前重義先生とも交流があり、松前先生の後押しで出品した作品がブルガリアの国際展で大賞を受賞されています。こうしたご縁が重なり、平和ホールを飾るステンドグラスを、「平和が教科書」という信条をお持ちの丸木ご夫妻がデザインしてくださいました。

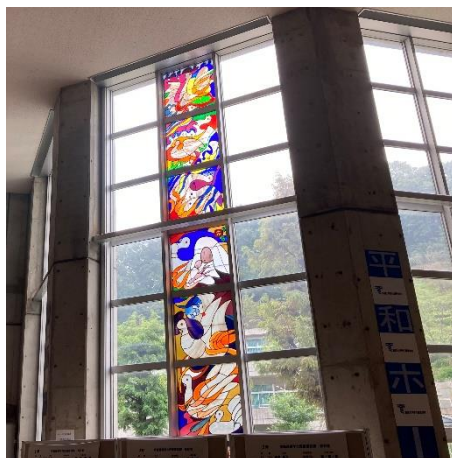
前理事長の想いを伝え、東海大学創業者であり「現代文明論」の著者である松前重義先生の平和への願いにも通じる平和ホールです。

丸木 位里

1901年6月20日に広島県の太田川の上流の農家に生まれる。戦前には前衛的な美術団体である歴程美術協会や美術文化協会に加わり、抽象やシュルレアリスムを取り入れた独自の水墨画を発表して高い評価を受けた。1945年に広島に原爆が落とされた時には、数日後にかけつけ、その様子を目撃した。やがて夫婦共同制作で《原爆の図》の制作に取り組み、30年以上の歳月をかけて15部の連作を完成。その一方で風景を中心としたスケールの大きな水墨画を数多く残している。1995年10月17日永眠。享年94 ※丸木美術館サイト参照

丸木 俊

1912年2月11日に北海道秩父別町の善性寺に生まれる。女子美術専門学校で油絵を学び、その後、モスクワ、ミクロネシアに滞在。油絵やスケッチを多数描き、二科展に入選。1941年に水墨画家の丸木位里と結婚。戦後は《原爆の図》をはじめ《南京大虐殺の図》、《アウシュビッツの図》、《水俣の図》、《沖縄戦の図》など社会的テーマの夫婦共同制作を発表している。また、すぐれた絵本作家としても知られ、『ひろしまのピカ』、『つつじのむすめ』などの絵本は今も多くの人に読み継がれている。2000年1月13日永眠。享年84 ※丸木美術館サイト参照



編集後記



夏の甲子園は、雨天コールドという予想外の結果となりました。そんな中、試合後のインタビューで「自分が泣いたら他の人に影響する。今は泣かないでいようと思いました。(中略)コロナもあった中で開催してくださった方に本当に感謝しています。」と語った栄主将に、誇らしい思いがしました。そして、昨春からの大変な日々の中にあっても、児童・生徒がしっかりと成長してきたのだということを実感しました。

学びの城の畑には藍の原料となる蓼藍が育っています。「青は藍より出でて藍より青し」とは教えを受けた人が教えた人より優れていることのとえです。限りない可能性を秘めた子供たちが、これからも伸び伸びと育っていけるよう、学園が一体となって力を尽くしていきたいです。